

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	地域の方に認知症や介護について、情報提供すると共に、グループホームが介護等の相談もできる場所であることをアピールしてはどうか。	地域の方々にホームの持ち得る力を提供し、地域貢献に尽力する。	地域の方々と相談しながら、必要に応じて出前講座や介護に関する相談会等を実施していく。また、関係機関とも連携し、助言等もしていただくほか、関係機関の情報を提供していく。ホームのアピールについては、回覧板や地域活動への参加等を通して、呼びかけていく。	6～12か月
2	2	災害時や入居者様の無断外出時の地域の方々の協力体制について	地域の社会資源や地域住民、近隣の会社等から、協力が得られるような体制やネットワークを作る。	・運営推進会議や回覧板、地域の活動時に呼びかけていく。 ・無断外出時や災害時等に支援、見守り等を行っていただけるよう、ホームの理解や入居者様の状況等を回覧板等で知っていただくことを今後、行っていく。	6～12か月
3	35	災害発生時の備蓄機材の保管場所について	災害発生時、速やかに備蓄機材を移動・使用できるようにする。	安全な機材は、敷地内の物置へ移動する。移動できない機材については、災害時、速やかに使用できるよう、保管場所からホームへ機材移動を行う職員を事前に決めておく。	3～6か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。